



矢野 晴彦



鴨川てんし



伊藤 紘



小倉 一郎



三好 鉄生



高岡 健二



増山 浩一



小沢 俊明



服部 博行



斉藤 省司



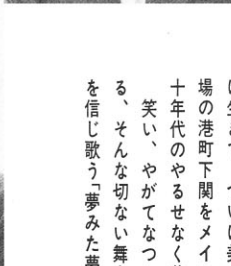
三上 伸行



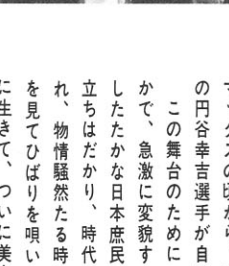
佐藤 克之



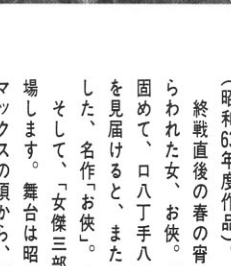
草薙 幸二郎



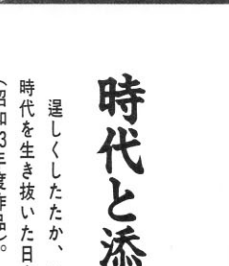
小沢 俊明



服部 博行



斉藤 省司



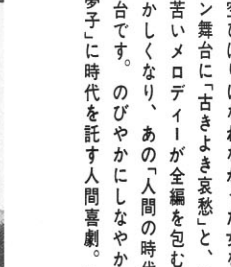
三上 伸行



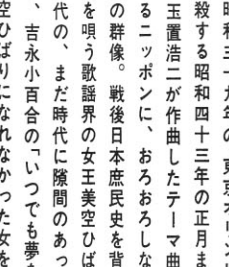
佐藤 克之



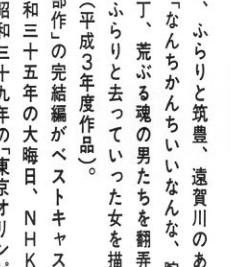
小川 よりこ



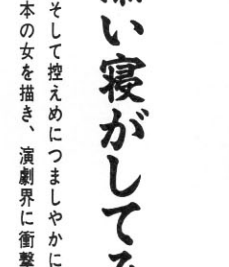
小沢 俊明



服部 博行



斉藤 省司



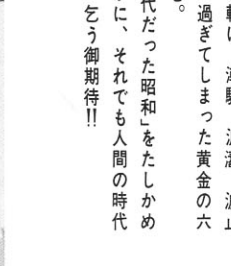
三上 伸行



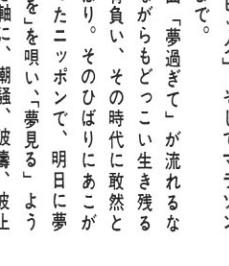
佐藤 克之



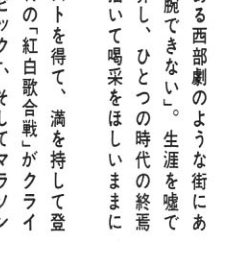
速川 明子



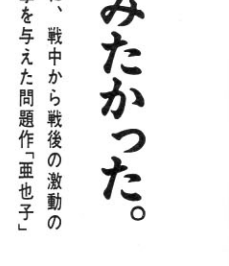
小沢 俊明



服部 博行



斉藤 省司



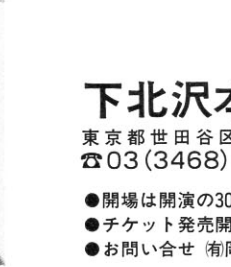
三上 伸行



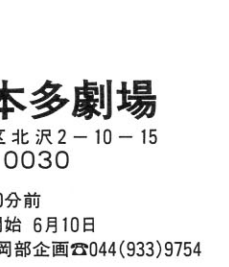
佐藤 克之



鈴木 景子



小沢 俊明



服部 博行



斉藤 省司



三上 伸行



佐藤 克之

時代と添い寝がしてみたかった。

遅くしたたか、そして控えめにつましやかに、戦中から戦後の激動の時代を生き抜いた日本の女を描き、演劇界に衝撃を与えた問題作「亜也子」(昭和63年度作品)。

終戦直後の春の宵、ふらりと筑豊、遠賀川のある西部劇のような街にあらわれた女。お俠。「なんちかんちいんなんな、腕でできない。生涯を嘘で固めて、口八丁手八丁、荒ぶる魂の男たちを翻弄し、ひとつの時代の終焉を見届けると、またふらりと去っていった女を描いて喝采をほしいままにした、名作「お俠」。(平成3年度作品)。

そして、「女傑三部作」の完結編がベストキャストを得て、満を持して登場します。舞台は昭和三十五年の大晦日、NHKの「紅白歌合戦」がクライマックスの頃から、昭和三十九年の「東京オリンピック」、そしてマラソンの円谷幸吉選手が自殺する昭和四十三年の正月まで。

この舞台のために玉置浩二が作曲したテーマ曲「夢過ぎて」が流れるなかで、急激に変貌するニッポンに、おろおろしながらもどっこい生き残るしたたかな日本庶民の群像。戦後日本庶民史を背負い、その時代に敢然と立ちほだかり、時代を唄う歌謡界の女王美空ひばり。そのひばりにあこがれ、物情騒然たる時代の、まだ時代に隙間のあったニッポンで、明日に夢を見てひばりを唄い、吉永小百合の「いつても夢を」を唄い、「夢見る」ように生きて、ついに美空ひばりになれなかつた女を軸に、潮騒、波濤、波止場の港町下関をメイン舞台に「古きよき哀愁」と、過ぎてしまった黄金の六十年代のやるせなく苦いメロデーが全編を包む。

笑い、やがてなつかしくなり、あの「人間の時代だった昭和」をたしかめる、そんな切ない舞台です。のびやかにしなやかに、それでも人間の時代を信じ歌う「夢みた夢子」に時代を託す人間喜劇。乞う御期待!!



友里千賀子



麻生 侑里



三好美智子

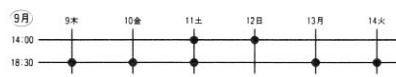


大山やえみ

下北沢本多劇場

東京都世田谷区北沢2-10-15
☎03(3468)0030

- 開場は開演の30分前
- チケット発売開始 6月10日
- お問い合わせ (有向部企画) ☎044(933)9754



前売り 4,000円(税込)

当日 4,500円(税込)

- 前売取扱い
- チケットぴあ 03(5237)9999
- チケットセン 03(5990)9999
- 本多劇場 03(3468)0030



芸術文化振興基金